

Title	癌と人 第32号 目次
Author(s)	
Citation	癌と人. 32
Issue Date	2005-05-10
Text Version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/11094/23724
DOI	
rights	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/>

◎ 題 字 ◎

財団法人 大阪癌研究会
前理事長 千代賢治



* 表紙絵解説

「蟹」のいわれ

蟹の絵は川俣順一大阪大学名誉教授にお願いして描いてもらったものである。

癌に関係ある学会のシンボルマークに蟹の図案化したものがよく用いられている。

癌と蟹の関係の歴史は遠くギリシャ時代にさかのぼる。ギリシャの医聖ヒポクラテス著述のところどころに、今日私どもがいう癌と思われる記録がある。ヒポクラテスはそれを「カルキノス」と呼んでいる。カルキノスというのは日常一般に用いられていた言葉で、蟹のことである。ヒポクラテスが記述しているという病気（癌）の格好が蟹に似ていたのでもそれを呼び名とした。

今日、欧米では日本という癌をカルチノーマと呼んでいる。それはカルキノスという言葉からきたもので、両者は同義語である。

ヒポクラテスはカルキノス（蟹）という日常語を純然たる医学語とした人である。癌と蟹の関係はそれ以来続いている。

・ごあいさつ	1
松本圭史	
・がん治療の進歩：何故完治例が著増したか…	2
松本圭史	
・乳がん検診に想う	5
田口鐵男	
・乳がんの検診を受けよう	8
小塚隆弘	
・大阪消化管がん化学療法研究会(OGSG)の あゆみ(3)	10
古河洋	
・がんを抑制する食品	12
岩永剛	
・乳癌に対する内視鏡手術	15
玉木康博	
・がん遺伝子 myc を手がかりに新しい 癌治療法開発を目指す	18
常岡誠	
・白血病関連遺伝子 AML1 の機能	19
黒川峰夫	
・ホジキンリンパ腫細胞株における Chk2 の 発現異常	20
大石勲	
・癌抑制遺伝子 PTEN が制御する肝臓の 脂肪化と造腫瘍性	22
岸本宏之	
・EB ウイルスによる発癌	23
大谷直子	
・潰瘍性大腸炎の病態形成における Reg 蛋白の役割	24
福井広一	
・細胞が接着するという事	26
伊藤彰彦	
・発癌を制御する RNA 遺伝子の研究	27
三浦典正	
・Fas リガンドによるアポトーシスと炎症と癌	28
須田貴司	
・乳癌の発症とアポリポ蛋白 E	30
満田憲昭	
・抗がん剤効用の判定法開発へ向けて	31
加藤順也	
・ES 細胞と腫瘍細胞	32
山中伸弥	
・平成 15 年度事業報告	34
・平成 15 年度収支計算書等	40
・平成 16 年度事業計画書	45
・平成 16 年度収支予算書	46
・平成 16 年度寄附者御芳名	47
・財団法人大阪癌研究会寄付行為	54
・(財)大阪癌研究会役員・評議員・賛助会員名簿	57